

# 地球環境子ども村だより

No.53

令和3年9月6日(月) 発行



9月に入り朝夕に秋の気配が濃くなってきました。日中はまだまだ30℃越えの暑さが続いています。夏バテなど出る頃ですし、今年はコロナウィルスの心配もあります。どうぞお体ご自愛下さい。さて、子ども村の事業は、新型コロナの流行に対する府の緊急事態宣言を受け、8月20日より9月12日までお休みとなりました。この機会に標本のケアや展示の見直しなどに取り掛かりました。少し時間はかかりますが、見やすい展示にしたいと思っています。

今回は、7月にコロナ対策を施しながら実施出来た特別講座の様子を紹介いたします。末筆ながら、医療従事者の方に心より感謝を、私たちも、コロナの流行が早く収束するよう予防に心がけましょう！(=^・^=)

## ◎これまでの行事報告(7月)

亀岡生き物大学 特別講座

「植物標本を作ろう！」第1回



7月22日(木) 午前10時～正午 参加者：35名

講師：井尻 俊之 さん(亀岡植物誌研究会)

夏休み最初の講座です。井尻さんは元高校の生物の先生で、標本の作り方の順序を説明され、早速、みんなで植物採集に出かけました。植物は正しく乾かすと100年持つ標本になるそうです。

真夏の太陽が照り付ける中、神前の昔ながらの畑や田んぼを見ながら千々川沿いの道を歩きました。ヒメジョオン、アカソ、エノコログサなど、雑草と呼ばれる草にもそれぞれ名前と特徴があります。先生の説明を聞きながら、子どもたちはどんどん植物を採集していきました。付近を1周する間に採集用のポリ袋はいっぱいになりました。



教室に戻って、押し葉の作業が始まりました。大きな新聞紙を2つに切って、その1枚に植物を挟んでいきます。

植物採集、これ何だろう？



間には大きい新聞紙を挟み、最初の1週間は毎日取り換えるとしっかり乾燥するそうです。「みんな頑張ってくださいね！」と井尻先生、「はい！」と答えて子どもたちは、段ボール台紙にひもを十字に掛けて結んだ新聞紙の束を持ち帰りました。2回目は8月19日、子どもたちの頑張りの成果が楽しみです。

亀岡生き物大学 特別講座

「昆虫教室」



7月24日(土) 午前10時～正午 参加者：33名

講師：仲田 丞治 さん

(NPO 法人亀岡人と自然のネットワーク)

今日は応援に、京都先端科学大学の「生き物ふれあい隊」のみな様が駆けつけてくれました。

まず、仲田さんより「クワガタを描いてみよう！」とお題が出され、なにも見ずに参加者全員がクワガタのイメージを用紙に描いていきます。なんだか強そうな2本の角が生えた虫の姿です。

それから、亀岡に住むクワガタ9種類のクイズが始まりました。子どもたちは、ヒントを頼りに考え正解が出ると大喜びです。それぞれのクワガタの特徴がよくわかりました。

後半は、野鳥の森へ昆虫の観察に出かけました。クヌギの木にトラップを仕掛けておいたので、1つ1つ中を確認していきます。子どもたちが輪になって取り囲む中、段ボールを外すと、何もいなかったり、次はムカデが出てきて、「残念！」「ムカデや！」との声、最後に1頭クワガタが入っていて、大歓声が上がりました。捕まえたクワガタは、森に戻してから教室へ帰りました。

最後に、クイズの全問正解者から順番に、クワガタとカブトムシのいずれかが入った昆虫ケースが仲田さんからプレゼントされました。子どもたちは中を確認し、友達と見せ合って大喜びでした。



何が出て来るかな？

ワクワク...

亀岡生き物大学 特別講座  
「チリメンモンスターを探せ！」



7月29日(木) 午前10時～正午 参加者：19名

講師：植木 永子(環境学習指導員)

チリメンモンスター(略してチリメン)は、チリメンジャコの中の小さな生き物のこと、大阪のきしわだ自然資料館と友の会が名付け親です。地球環境子ども村では、きしわだ自然資料館と連携させていただき、毎年、子どもから大人まで、沢山の方がチリメン探しを楽しんでいます。今年、コロナ対策の上で実施し、講師は、チリメンが大好きな環境学習指導員の植木が務めました。

まずはチリメンモンスター探しから、1家族ごと1つの容器にチリメンジャコを入れて、中から小さな生き物を探して「ゲット！」します。コツは、色の違う生き物を見つけることです。黒や赤、茶色などの生き物が、白いチリメンジャコの中に混じっています。

子どもたちは、次々とチリメンをゲットし「これ何ですか?」「カニですか?」「これは、タコですか?」と質問に来ます。カニの幼生のゾエアやメガロパと、イカの子どもが多く見つかりました。アナゴのレプトケファルス、ヨウジウオなど珍しい「レア物」も見つかりました。

ゲットしたチリメンで標本を作りました。チリメンの故郷、大阪湾の様子もDVDで見ていただき、亀岡と大阪湾をつなぐ川の存在も感じ取っていただきました。チリメンを守るためには、「川をきれいにする!」と元気な声が返ってきました。また、帰り際に、「楽しかった。」「宿題が1つ出来ました!」と言っておいただき、講座が実施出来て本当によかった、と思いました。



チリメンゲット!



チリメンシール

遊びに来たよ! 来村報告(8月)

ボーイスカウト亀岡第1団(ビーバー隊)

8月1日(日) 子ども 9名 引率 5名

野鳥の森で昆虫観察を行い、亀岡の生き物の学習を行いました。講師は、仲田 丞治さんをお願いしました。ノコギリクワガタなどを採集できました。



☆トピックス☆

地球環境子ども村に木製のブランコが設置されました。私も乗ってみました。乗るとギョッと木がきしむ音がノスタルジックです。後から制限体重が40kgと聞いて、「オーバーや!!」と絶句。今まで小さい子どもさんが遊ぶ遊具が無かったので、第一号です。みな様も、子ども村に遊びに来た時に、乗ってみませんか? 私のお勧めの時間は、午後遅くヒグラシの鳴く頃です。日差しが弱まる夕方近く、山の涼しい風に乗って、夏を惜しむかのような「カナカナ」というセミの音が聞こえます。子どもはもちろん、大人でも、腰かけて写真を撮る程度なら大丈夫だと思いますよ!



芝生広場のブランコ♪

さて、子ども村の行事や催しについては、広報かめおかや、地球環境子ども村のホームページとフェイスブック、インスタグラムをご参照ください。詳しくは、地球環境子ども村へお問い合わせください。来村の折には、マスクを忘れずに!

(文責：植木)

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

TEL: 0771-26-6100 Fax: 0771-26-5002

Email: kodomomura@city.kameoka.lg.jp